

令和5年第2回栄町議会定例会 会期予定

月 日	曜	時 間	会 議 名	事 項
6月6日	火	10:00	本 会 議	<ul style="list-style-type: none"> ・開 会 ・行政報告 ・諸般の報告 ・会議録署名議員の指名 ・会期の決定 ・議案の受理報告 ・議案審議 町長提出議案等の説明（一部採決）
6月7日	水		休 会	・議案調査
6月8日	木		休 会	・議案調査
6月9日	金		休 会	・議案調査
6月10日	土		休 会	・議案調査
6月11日	日		休 会	・議案調査
6月12日	月		休 会	・議案調査
6月13日	火		休 会	・議案調査
6月14日	水	10:00	本 会 議	・一般質問（4名）
6月15日	木	10:00	本 会 議	・一般質問（5名）
6月16日	金	10:00	本 会 議	<ul style="list-style-type: none"> ・議案審議 町長提出議案の質疑・討論・採決 ・閉 会

令和5年第2回栄町議会定例会議事日程〔第1号〕

令和5年6月6日 午前10時開会

1. 開 会 宣 告
1. 開 議 宣 告
1. 行 政 報 告
1. 諸 般 の 報 告

- 日程第1 会議録署名議員の指名
- 日程第2 会期の決定
- 日程第3 報告第1号 専決処分の報告について
- 日程第4 報告第2号 繰越明許費繰越計算書について
- 日程第5 報告第3号 事業会計予算の繰越計算書について
- 日程第6 諮問第1号 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて
- 日程第7 議案第5号 栄町固定資産評価審査委員会委員の選任について
- 日程第8 議案第1号 専決処分を報告し承認を求めることについて
- 日程第9 議案第2号 専決処分を報告し承認を求めることについて
- 日程第10 議案第3号 専決処分を報告し承認を求めることについて
- 日程第11 議案第4号 専決処分を報告し承認を求めることについて
- 日程第12 議案第6号 栄町税条例の一部を改正する条例
- 日程第13 議案第7号 栄町通学区域審議会条例の一部を改正する条例
- 日程第14 議案第8号 栄町火災予防条例の一部を改正する条例
- 日程第15 議案第9号 令和5年度栄町一般会計補正予算（第3号）
- 日程第16 議案第10号 令和5年度栄町国民健康保険特別会計補正予算
(第1号)

令和5年第2回栄町議会定例会議事日程〔第2号〕

令和5年6月14日 午前10時開議

1. 開議宣告

日程第1 一般質問

- | | |
|---------------|---------------|
| (1) 9番 松島 一夫 | (2) 11番 高萩 初枝 |
| (3) 5番 早川 久美子 | (4) 3番 大塚 佳弘 |

令和5年第2回栄町議会定例会議事日程〔第3号〕

令和5年6月15日 午前10時開議

1. 開議宣告

日程第1 一般質問

- | | |
|--------------|-------------|
| (1) 1番 塚田湧長 | (2) 7番 大野信正 |
| (3) 2番 石橋善郎 | (4) 4番 岡本雅道 |
| (5) 10番 野田泰博 | |

令和5年第2回栄町議会定例会議事日程〔第4号〕

令和5年6月16日 午前10時開議

1. 開 議 宣 告

日程第1	議案第1号	専決処分を報告し承認を求めることについて
日程第2	議案第2号	専決処分を報告し承認を求めることについて
日程第3	議案第3号	専決処分を報告し承認を求めることについて
日程第4	議案第4号	専決処分を報告し承認を求めることについて
日程第5	議案第6号	栄町税条例の一部を改正する条例
日程第6	議案第7号	栄町通学区域審議会条例の一部を改正する条例
日程第7	議案第8号	栄町火災予防条例の一部を改正する条例
日程第8	議案第9号	令和5年度栄町一般会計補正予算（第3号）
日程第9	議案第10号	令和5年度栄町国民健康保険特別会計補正予算 (第1号)

1. 閉 会 宣 告

令和5年第2回定例会

一 般 質 問 通 告 書

栄町議会

令和5年第2回定例会一般質問一覧

1. 松島 一夫

- (1) 大規模水害への対応について
- (2) 生成AIについて
- (3) 合葬式公営墓地について

2. 高萩 初枝

- (1) 学校給食センター建て替えについて
- (2) 中学生や小学生の不登校の現状と対策について
- (3) SDGs推進に向けた取り組みについて

3. 早川 久美子

- (1) 橋本町長の公約について
- (2) 熱中症対策の推進について

4. 大塚 佳弘

- (1) 地域公共交通計画について
- (2) 補聴器購入助成制度について
- (3) 国民健康保険税について

5. 塚田 湧長

- (1) 竹林整備の取組方針について
- (2) ドラムの里活性化の進捗について

6. 大野 信正

希望溢れる町をつくる

- (1) 町民の声を聴き、町づくりに活かす。総括について
- (2) 若い方にも住みやすいといわれる町づくりより10歳代・20歳代に対する具体的取り組みについて
- (3) 産業が活性化し賑わいのある町づくりより、農業力の強化について
- (4) 安食駅券売機のフリータイム利用について

7. 石橋善郎

(1) 国土強靱化について

(2) 街路樹について

8. 岡本雅道

(1) 農業振興に対する町長のご存念

(2) 給食センターの立地について

9. 野田泰博

(1) 給食センター建替えについて

1. 松 島 一 夫

質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
<p>1. 大規模水害への対応について</p> <p>2. 生成A Iについて</p> <p>3. 合葬式公営墓地について</p>	<p>前回に引き続き、土地改良区への支援と給食センターの建設について問う。</p> <p>昨今大きな話題になっている生成A Iの取り扱いについて町長部局・教育長部局双方の見解を問う。</p> <p>その後の検討結果と実現可能性は如何に。</p>	

2. 高 萩 初 枝

質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
<p>1. 学校給食センター建て替えについて</p>	<p>①盛り土に要する経費について、最小限に抑える必要があると思いますが、何か考えはあるのでしょうか。</p> <p>②給食センターをふれあいプラザさかえの周辺に建設することには賛成ですが、事業費が二度にわたって増額となっています。さらに、20億円を超える事業費は決して安価なものではなく、高額といわざるをえません。そこで、事業費を最小限に抑えることは必須だと思いますが、何か考えていることはありませんか。</p> <p>③現在の給食センターは、どの程度稼働が可能なのでしょうか。</p>	<p>町長 教育長 担当課長</p>
<p>2. 中学生や小学生の不登校の現状と対策について</p>	<p>①栄町の児童・生徒の不登校人数（割合）について、9年前から2022年までどのように推移しているか。そして、不登校の原因について、どのようなことが主な原因になっているとお考えでしょうか。</p> <p>②学校が行きたくない場所になっているのは、どうしてだと思いますか。考えをお聞かせください。</p>	<p>教育長 担当課長</p>
<p>3. SDGs 推進に向けた取り組みについて</p>	<p>栄町の計画によると、1～8のSDGsの目標と紐づけしています。すべて「・・・元気なまち」です。 元気なまちに住めるのも気候変動対策なしには、なしえません。 計画には、その気候変動対策がありません。</p> <p>①なぜ、気候変動対策を基本計画の中に入れなかったのですか。</p> <p>②日本の暮らし（生産～消費・廃棄）までの中で、最もCO2を多く排出するのは「農業30%」というデータがあります。これがSDGsの取り組みになぜ、反映されなかったのでしょうか。</p>	<p>町長 担当課長</p>

3. 早川久美子

質問事項	質問要旨	答弁者
1. 橋本町長の公約について	<p>橋本町長が就任されて1年が経ちました。町民が希望を持てる町をつくる！情熱と行動力！希望あふれる町を作る！との公約が8つ掲げられていましたが現在の進捗状況を伺います。</p>	町長 担当課長
2. 熱中症対策の推進について	<p>気候変動の影響により、国内の熱中症死亡者数は増加傾向が続いています。近年では年間千人を超える年が頻発するなど、自然災害による死亡者数をはるかに上回っています。</p> <p>また、今後、地球温暖化が進行すれば、極端な高温の発生リスクも増加すると見込まれ、我が国において熱中症による被害が更に拡大する恐れがあります。</p> <p>こうした状況を踏まえ、今後起こり得る極端な高温も見据えて、熱中症の発生の予防を強化するための取り組みが必要と考えます。町の取り組みを伺います。</p> <p>①熱中症から地域住民の生命を守るための取り組みについて ②高齢者の熱中症に対する予防への意識を醸成するための取り組みについて ③高齢者世帯等のエアコンの整備や点検の推進に向け、積極的勧奨が必要と思いますが、町の見解をお聞かせ下さい。 ④学校における、子どもの熱中症を防ぐための取り組みについて</p>	教育長 担当課長

4. 大塚佳弘

質問事項	質問要旨	答弁者
1. 地域公共交通計画について	<p>昨年の12月議会では、「地域公共交通計画」を年度中に策定するという答弁がありましたが、その計画の進捗状況を伺う。</p>	担当課長
2. 補聴器購入助成制度について	<p>令和3年12月議会で補聴器補助制度の質問をした時は、令和3年7月の時点で全国で35市区町村で補助をしているということでしたが、昨年10月31日時点で114自治体に増えています。</p> <p>栄町でも補聴器助成制度導入すべきと思うが考えを伺いたい。</p>	担当課長
3. 国民健康保険税について	<p>①物価高騰で家計の負担が増える中、国民健康保険税は高過ぎると言えます。誰もが払える国民健康保険税にしてもらいたい。</p> <p>国民健康保険税値下げについての考えを伺う。</p> <p>②滞納や年収別の世帯数について伺う。</p>	担当課長

5. 塚 田 湧 長

質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
<p>1. 竹林整備の取組方針について</p>	<p>「竹林整備」については、先回の定例会で一般質問をしておりますが、森林環境譲与税の本格的運用に至る前なので、森林環境譲与税の充当が、地目上「山林」に限られるとの解釈と、民有林の維持・保全は、所有者が行うべきもの、との方針により、「交通に支障が出る恐れ」や「電線の断線」などの差し迫り危険な個所の予防伐採に絞り、限られた民有林に町が直接関与して森林環境譲与税を利用しているのが現状です。</p> <p>【1】森林環境譲与税の活用について 来年度から国民一人当たり1,000円の課税が始まり「森林環境譲与税」の本格的活用が求められていますので、改めて質問します。 ①栄町の「森林環境譲与税」の課税想定額はどの位ですか。 ②森林環境譲与税の活用はどのような計画をされているのですか。 ③森林環境譲与税の活用の主要事業としては、「竹林整備」とするべきと考えておりますが、如何ですか。</p> <p>【2】竹林整備への取組方針について 栄町においては、荒廃する放置・拡大竹林の整備は避けて通れない事業と言えます。今後の竹林整備への取組方針を伺います。 ①「森林環境譲与税」が充当できる整備・伐採等は、地目「山林」に限られる。との見解について 不動産登記事務取扱手続準則では、山林とは「耕作によらないで竹木の育成する土地」となっています。つまり、耕したり肥料を与えたりせず自然に竹や木が生えている土地ということです。 栄町においては整備されずに放置された竹林が、周囲の森林や畑に侵入・拡大を続けており、全ての竹林整備が「森林環境譲与税」の充当が可能と成り得ますが、如何ですか。</p>	<p>町長 担当課長</p>

<p>2. ドラムの里活性化の進捗について</p>	<p>②「民有林の維持・管理は、所有者が行うべきもの。との見解について 竹材としての利用が少なくなつて放置され、周囲に広がり拡大竹林となる。現在では、この生育の速さに着目して有用な資源とするために新たな用途を開発しようとする動きが急です。竹材としての生産を安定させ効率を上げるためには、出来るだけまとまった事業が出来ることが望ましい。竹林の多くが民有林であることを考える時、各所有者間の調整を行う必要があり、個人情報に関与するこの作業を行い得るのは各地方自治体しかないことに成りますが、如何ですか。</p> <p>【1】スケジュールについて 令和5年度の計画に組み込まれた、管理運営関係の次のスケジュールの進捗状況を伺います。</p> <p>①管理・運営の検討 ②人材発掘 ③新会社設立準備委員会設置</p> <p>【2】コンセプトについて 「栄町ドラムの里活性化計画（案）」で提示された、データ分析やヒヤリングの結果、及び道の駅基本計画の内容を踏まえ、ドラムの里の再生の方向性を整理した上で、ドラムの里の施設としてあるべき姿（コンセプト）を設定されていますが。</p> <p>①そこに上げられた課題と対比して、解決策はどの様に検討されていますか。 ②「あるべき姿」との整合性は、何処で、どの様に検討されていますか。</p>	<p>町長 担当課長</p>
---------------------------	--	--------------------

6. 大野 信正

質問事項	質問要旨	答弁者
<p>希望溢れる町をつくる</p> <p>1. 町民の声を聴き、町づくりに活かす。総括について</p> <p>2. 若い方にも住みやすいといわれる町づくりより、10歳代・20歳代に対する具体的取り組みについて</p> <p>3. 産業が活性化し賑わいのある町づくりより、農業力の強化について</p> <p>4. 安食駅券売機のフリータイム利用について</p>	<p>町長就任一年間を経過し重点的に取り組まれたことについてお尋ねします。複雑化する行政運営の中、住民による協働活動の活性化もポイントであると思います。定期的なフォローアップ・今後の推進について伺います。</p> <p>「住民意識調査」より定住移住一栄町の住み心地について、10歳代の「どちらかと言えば住みにくい」31・0%「非常に住みにくい」3・4%計34・4% できれば住みたくない27・6% (20歳代計21・7% ・20・5%) どの様にリカバリーするかお尋ねします。</p> <p>①栄町農業の生産性拡大について ②ブランド品の開拓（長年のテーマ）成果及び今後の取り組みについて ③循環型農業での有機農業の取り組みより学校給食有機米の取り組みについて</p> <p>安食駅の利便性復活で一番の課題である券売機営業時間の拡大交渉の結果と今後の交渉について伺います。</p>	<p>町長</p> <p>町長 担当課長</p> <p>担当課長</p> <p>担当課長</p>

7. 石橋善郎

質問事項	質問要旨	答弁者
1. 国土強靱化について	町としてどんな取り組みをしているか。	担当課長
2. 街路樹について	①何の為にあるのか。 ②その木によって、住民に迷惑を掛けていないのか。	担当課長

8. 岡本雅道

質問事項	質問要旨	答弁者
1. 農業振興に対する町長のご存念	「農業は町の主力産業」という言葉をしばしば耳にしますが、町のHPに掲載されている農業センサスのデータによると、栄町の農家人口は平成2年から平成27年までの25年間で約4500人から約1500人まで減少しています。他方、農業従事者の納税額を数年前に調べたところ、全体のおよそ0.6%でしたので、栄町の農業は“主力”どころか“産業”と云えるかどうかとも怪しくなるほど厳しい状況にあることは想像に難くありません。 今後も人口減少と高齢化が増々顕著になる栄町において農業の建て直しをどのようにするのか、それとも、しないのか。するのであれば、何をどうするのか。農業振興に対する町長の存念をお聞かせ下さい。	町長
2. 給食センターの立地について	3mの盛土をしてでも給食センターの立地を浸水地域に拘ろうとする町長のお考えについては、これまでも多くの議員がその理由については説明を求めてきましたが、未だ納得のいく回答は得られていません。町民からも「こんなことを許しては栄町民の恥だ」というような意見まで聞こえておりますので、数億円もの追加費用を投じてでも浸水地域への立地に拘る理由をご説明ください。	町長

9. 野 田 泰 博

質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
<p>1. 給食センター建替えについて</p>	<p>最初にお伝えすることは、給食センター建替えに関して私たち議員が知らない内容が突然町民から聞こえてきました。現時点では給食センター建替え費用の詳細な数値はまだ出ていないと思われます。5月18日に安食台4丁目I氏という方からの電話でした。私との面識はありません。内容はまだ決まっていない盛り土経費のことまで詳細な数値でした。誰からお聞きしたのかと問うと。この方は某議員の名を出されました。この方は得た情報を議員数名に電話をし、何故賛成するのかという叱責だったようです。今後このような漏洩、もしくは漏洩まがいなことがありませんようお願いいたします。</p> <p>①今後の給食センター建替えについておおよそのスケジュールをお知らせ願います。決まっていないうでしたら、今ある年度程度のスケジュールでいいので時期はいつごろになるのでしょうか。</p> <p>②議員ばかりか町民も心配している給食センター建替え費用などもどのように工面していくか、決まっていたらお知らせください。まだ時期尚早であるなら町民も関心をもっていますので、ぜひ時期をみてお知らせ願います。</p>	<p>町長 担当課長</p>